

公立大学法人岡山県立大学の経営状況について

【概況】

団体の基本情報 (H23.4.1現在)					
名称	公立大学法人岡山県立大学		事務所の所在地	総社市窪木111番	
代表者	理事長 三宮 信夫		設立年月日	平成19年4月1日	
基本財産	12,091,633千円	うち県出資金	12,091,633千円	県出資比率	100%
役員	7人	職員	397	決算時期	3月
設立目的	この公立大学法人は、大学を設置し、及び管理することにより、他の教育研究機関及び地域社会との自由かつ緊密な交流連携のもとに、人間・社会・自然の関係性を重視する実学を教授研究するとともに、知性と感性を育み、豊かな教養と深い専門性を備えて新しい時代を切り拓く人材の育成を図り、もって学術文化の進展及び地域産業の振興に寄与することを目的とする。				
主な事業	(1) 県立大学を設置し、これを運営すること。 (2) 学生に対し、修学、進路選択及び心身の健康等に関する相談その他の援助を行うこと。 (3) 法人以外の者から委託を受け、又はこれと共同して行う研究の実施その他の法人以外の者との連携による教育研究活動を行うこと。 (4) 公開講座の開設その他の学生以外の者に対する学習の機会を提供すること。 (5) 県立大学における研究の成果を普及し、及びその活用を促進すること。 (6) 前各号の業務に附帯する業務を行うこと。				

経営実績と財産の状況 (単位:千円)						
	H18	H19	H20	H21	H22	H23(予算)
当期収入 A		3,942,194	3,550,018	3,334,921	3,472,223	3,470,500
うち県支出金 B		2,311,820	2,168,564	1,911,833	1,961,698	2,104,856
県支出金の割合 (B/A)		58.6%	61.1%	57.3%	56.5%	60.6%
当期支出 C		3,644,829	3,465,711	3,315,254	3,462,704	3,470,500
当期収支差額 (A-C)		297,365	84,307	19,667	9,519	0
総資産 D		12,242,329	12,324,782	12,180,315	11,960,748	
主なもののうち						
土地・建物		9,595,138	9,524,628	9,423,925	9,261,154	
現金預金		968,482	1,111,861	894,195	879,982	
総負債 E		2,354,350	2,756,310	2,784,934	2,792,936	
うち運営費交付金債務等		192,050	278,325	210,059	143,158	
正味財産 F=D-E		9,887,979	9,568,472	9,395,381	9,167,812	
出資財産等 G		9,590,614	9,186,800	8,994,041	8,809,423	
内部留保等 (F-G)		297,365	381,672	401,340	358,389	
経営実績と財産の状況についての評価	平成22年度は県立大学が、法人化のメリットを生かし、平成19年度より着手した様々な改革を継続し、着実に実行している状況が十分見受けられたことから、業務の実績における中期計画の進捗は順調と評価できる。					

役員職員の状況						
	H18	H19	H20	H21	H22	H23
役員	総数		7	7	7	7
	常勤		4	4	4	4
	うち県派遣職員		0	0	0	0
	非常勤		3	3	3	3
	うち県職員		0	0	0	0
職員	総数		392	379	395	385
	常勤		198	197	192	199
	うち県派遣職員		35	33	31	29
	非常勤		194	182	203	186

岡山県からの支出の状況 (単位:千円)						
	H18	H19	H20	H21	H22	H23(予算)
県支出金(再掲)		2,714,698	2,446,889	2,122,393	2,104,856	2,104,856
内訳	運営費交付金		2,503,870	2,446,889	2,121,893	2,104,856
	学術振興基金造成補助金		210,828			
	子育て大学・地域タイアップ事業費補助金				500	
	その他					
長期貸付金(年度末残高)						
損失補償限度額						
損失補償契約に係る債務残高						
債務保証限度額						
債務保証契約に係る債務残高						

平成22年度公立大学法人岡山県立大学事業実績書

(単位：千円)

事業名	事業の概要	事業費
岡山県立大学事業	<p>1 大学の教育研究等の質の向上</p> <p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保健福祉学部の第一目標である国家試験合格率で、本年度も看護師国家試験など2国家試験で100%となるなど、全ての国家試験で高い合格率を維持しているとともに、初めて管理栄養士国家試験で計画目標を達成した。</li> <li>・情報工学部では、教育プログラムの整備・点検のための「情報教育検討委員会」を設置し、情報技術者育成に必要な基本的事項を点検し、学科横断的な教育プログラムを設定した。</li> <li>・デザイン学部では、文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業」に『デザイナーの卵』孵化推進教育プログラムとして申請し、採択を得た。</li> <li>・大学院研究科においては、特に説明やコミュニケーション能力の醸成を目的に、学会等での研究発表を学生に奨励した。</li> <li>・教育の質の改善では、授業評価アンケートの実施方法の見直し等とともに、大学機関別認証評価で指摘された「シラバス」を改善し、学期及び休業日の期間を見直して、授業時間を確保する措置をとった。</li> <li>・教員の個人評価制度については、23年度からの本格実施に向けて、「教員の個人評価実施要項」を策定した。</li> </ul> <p>【学生への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職支援専門委員会を設置し、支援体制を強化するとともに、就職ガイダンスの実施回数の増加や、希望者を対象にした自己分析検査・就職模擬試験の実施等、学生のニーズに応じて柔軟な対応を行った結果、景気低迷による雇用情勢が厳しい状況下でも、全学就職率は90.4%（21年度90.8%）とほぼ前年度に近い結果を得た。</li> </ul> <p>【地域貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県や県看護協会からの要請に応じて「認定看護師教育課程（糖尿病看護分野）」の開設準備を進め、平成23年4月1日に認定看護師教育センターを開設した。</li> </ul> <p>【産学官連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域共同研究機構の産学官連携推進センターでは、民間出身の非常勤職員（コーディネーター）が教員のプロジェクトチーム（愛称：MoDD lab）と連携し、22年度は11件の提案型共同研究を推進した。（21年度4件）</li> </ul> <p>2 業務運営の改善及び効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長(学長)及び学部長等を中心とする機動的な運営体制により、戦略的な組織の運営（CC戦略）に努めるとともに、「学長メッセージ」や「教員と学長との懇談会」を通じて学内に経営戦略の浸透が図られた。</li> <li>・教員の個人評価制度の本格実施に併せて、教員の教育、研究、地域貢献等の活動がより効率的・効果的に実施できるよう一律に裁量労働制を導入し、また、外部資金等により雇用する特任教員の任用に係る給与制度として、業務内容や能力を考慮し個別契約を行う年俸制を整備し、23年度から適用した。</li> </ul> <p>3 財務内容の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省科学研究費補助金の新規採択率は24%（前年27%）と前年を少し下回ったが、継続取得分を合わせた取得件数は45件（+3件）と、過去最高となった。</li> <li>・共同研究費等の外部資金獲得では、共同研究33件（前年31件）、受託研究26件（同45件）、教育研究奨励寄付金に係る研究32件（同25件）と3研究費全体として前年をわずかに下回ったが、目標件数は達成している。</li> </ul> <p>4 自己点検・評価及び改善並びに当該情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学機関別認証評価で、改善を要する点として指摘された「保健福祉学研究科（博士後期）の入学定員充足率が著しく超過（2.33倍）」については、入学定員の適正化を検討し、博士後期課程全体で入学定員3名を5名に増員し、23年度入学からの適用がなされた。</li> </ul>	3,420,946

平成22年度公立大学法人岡山県立大学貸借対照表及び損益計算書

1 貸借対照表

平成23年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
1 固定資産		3 固定負債	
(1)有形固定資産		資産見返負債	1,884,036,019
土 地	3,962,416,334	長期寄附金債務	214,312,840
建 物	5,298,737,283	長期未払金	108,885,335
構 築 物	179,320,116	固定負債合計	2,207,234,194
機 械 装 置 等	223,951,637		
図 書 等	1,163,324,193	4 流動負債	
有形固定資産合計	10,827,749,563	運営費交付金債務	53,726,549
		寄附金債務等	24,808,998
(2)無形固定資産		未 払 金	474,871,914
ソフトウェア	23,534,237	預 り 金 等	32,293,712
電話加入権等	1,990,856	流動負債合計	585,701,173
無形固定資産合計	25,525,093	負債合計	2,792,935,367
		資本の部	
(3)投資その他の資産		5 資本金	
長期性預金	222,304,396	地方公共団体出資金	12,091,632,943
投資その他の資産合計	222,304,396	資 本 金 合 計	12,091,632,943
固定資産合計	11,075,579,052		
2 流動資産		6 資本剰余金	
現金及び預金	879,981,960	資本剰余金	6,096,000
未収入金等	3,490,894	損益外減価償却累計額(△)	△ 3,288,305,698
たな卸資産	1,695,825	資本剰余金合計	△ 3,282,209,698
流動資産合計	885,168,679	7 利益剰余金	
		目的積立金	340,878,343
		積 立 金	7,991,556
		当期末処分利益	9,519,220
		利益剰余金合計	358,389,119
		資本合計	9,167,812,364
合 計	11,960,747,731	合 計	11,960,747,731

2 損益計算書

自 平成22年 4月 1日  
至 平成23年 3月31日  
(単位：円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
経常費用 業 務 費 教 育 費 研 究 費 教 育 研 究 支 援 費 受 託 研 究 費 受 託 事 業 費 教 員 人 員 費 一 般 管 理 費 財 務 費 当期総利益	3,462,703,424  576,052,025 267,878,462 67,725,995 45,051,763 5,561,948 28,945,466 1,825,597,388 389,108,245 254,387,853 2,394,279 9,519,220	経常収益 運営費交付金収益 授業料収益 入学金収益 検定料収益 受託研究等収益 寄附金収益 補助金等収益 資産見返負債戻入 財務収益 雑益 目的積立金取崩額	3,419,752,114 1,961,698,165 977,906,050 124,944,600 56,953,200 46,221,838 11,645,138 16,149,202 166,346,948 577,855 57,309,118 52,470,530
合 計	3,472,222,644	合 計	3,472,222,644

平成23年度公立大学法人岡山県立大学事業計画書

(単位：千円)

事業名	事業の概要	事業費
岡山県立大学事業	<p>1 大学の教育研究等の質の向上</p> <p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育方法では、7つのカテゴリーにより進めてきた全学教育の成果を検証し、次期中期計画に向けて、その方向性を検討する。</li> <li>・連携大学院方式の実績を点検し、その効果及び必要性を検証する。</li> <li>・「教育の質の改善」のための各種取組を支援するとともに、その実施状況について、評価委員会が中心となり、常に点検を行う。</li> <li>・相互授業参観の実施方法を改善するとともに、授業改善やキャリア教育をテーマに、学外講師により研修会を開催する。</li> </ul> <p>【学生への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップの意義、重要性等について学生への周知を図るとともに、インターンシップへの参加を希望する学生の主体的な取組を支援する。</li> <li>・就職支援専門委員会において、雇用情勢や学生のニーズを踏まえ、就職活動の効果的な支援について検討し、対策を講じる。</li> </ul> <p>【研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「領域・研究プロジェクト」では、平成22年度に集約再編した3領域の下で研究を推進する。プロジェクトの採択では、これまでの学内公募に産学官連携推進センターからの提案を加えるとともに、集中的な支援を行うことを目的に、採択件数を5プロジェクト程度に絞り込む。</li> <li>・領域・研究プロジェクトの推進、更なる活性化を目指し、学内特別研究費等により、プロジェクトの支援を推進する。</li> </ul> <p>【地域貢献、産学官連携、国際交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の基本理念「実学を創造し、地域に貢献する」に対する学内の認識を深め、教職員の協力の下、地域共同研究機構の機能強化及び活性化を図る。</li> <li>・平成22年度の準備・計画に基づき、地域共同研究機構に「認定看護師教育センター」を開設し、認定看護師教育課程を開講する。</li> <li>・保健福祉推進センターでは、第一線で活躍している保健福祉分野の専門職を対象に研究会を開催するとともに、総社市等と協力しながら「県立大学子育てカレッジ」の一層の充実に努める。</li> <li>・地域共同研究機構の活動において、デザイン分野を担ってきた「メディアコミュニケーション推進センター」の今後の組織体制を検討する。</li> <li>・中国東北師範大学と大学間協定の締結を目指すとともに、新たな交流協定候補校の情報収集を継続する。</li> </ul> <p>2 業務運営の改善及び効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度からの第2期中期計画の基本となる経営方針（方向性）を検討する。そのため、平成20年度に設定した経営戦略「CC戦略」（学内を競争（competition）と協働（collaboration）の場と位置づけ、競争意識をもって各教員が教育研究活動に取り組むとともに、異なる専門分野の協働作業を促進させる戦略）の効果を検証する。</li> <li>・本格運用となる「教員の個人評価」を円滑に実施し、課題等の把握に努める。</li> </ul> <p>3 財務内容の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研究資金の獲得に向け、「社会活動委員会」等において、教員の意識向上を図るとともに、文部科学省「科学研究費補助金」の未獲得教員を対象に、学長による個別指導を行う。また、文部科学省「科学研究費補助金」に関する教員の意識向上を目的に、研修会を企画する。</li> </ul> <p>4 自己点検・評価及び改善並びに当該情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人運営に係る各種情報の提供について、これまでどおり継続的な点検・見直しを行う。特にホームページについては、制作から3年が経過することから、構成や内容を見直し、受験生や地域の方々に、より分かりやすいものとなるように努める。</li> </ul>	3,470,500

平成23年度公立大学法人岡山県立大学収支予算書

(単位：千円)

支 出 の 部				収 入 の 部			
科 目	予 算 額			科 目	予 算 額		
	23年度	22年度	増△減		23年度	22年度	増△減
教育研究経費	812,894	793,902	18,992	運営費交付金	2,104,856	2,104,856	0
教育経費	522,610	514,764	7,846	自己収入	1,164,931	1,113,322	51,609
研究経費	243,940	232,726	11,214	授業料	944,890	919,973	24,917
教育研究支援経費	46,344	46,412	△ 68	入学金	110,616	108,664	1,952
人件費	2,152,106	2,228,181	△ 76,075	検定料	51,612	51,296	316
役員人件費	29,231	28,784	447	その他	57,813	33,389	24,424
教員人件費	1,724,333	1,839,678	△ 115,345	受託研究等収入及び	81,000	81,000	0
職員人件費	398,542	359,719	38,823	寄附金収入	119,713	186,322	△ 66,609
一般管理費	424,500	382,417	42,083	目的積立金取崩収入			
受託研究等経費及び 寄附金事業費等	81,000	81,000	0				
合 計	3,470,500	3,485,500	△ 15,000	合 計	3,470,500	3,485,500	△ 15,000